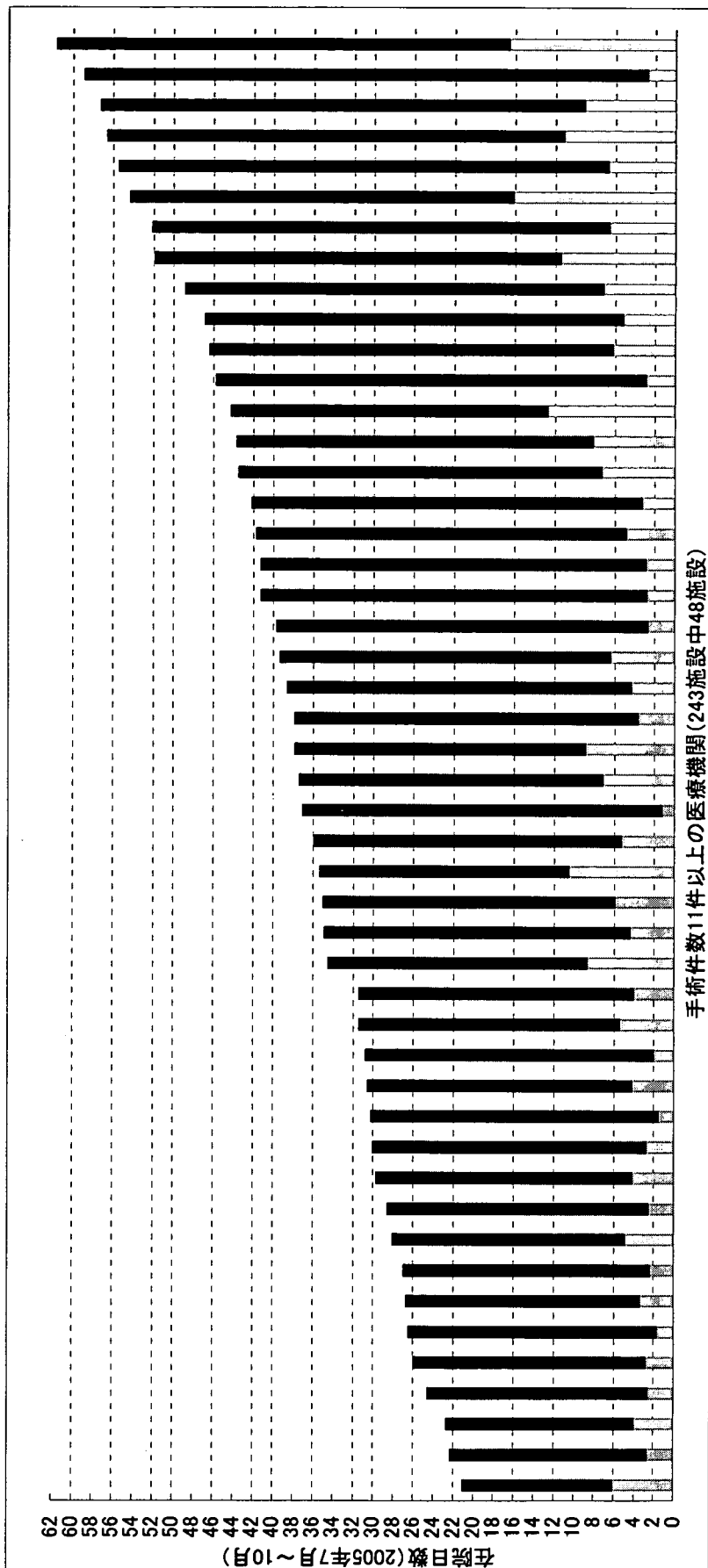


### 股関節症人工関節置換術施行症例における平均在院日数(N = 921)

分類名	解析対象DPC番号の範囲 0702203x02										パーセンタイル				
	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95			
股関節症(変形性を含む)における人工関節置換術施行症例	在院日数	38.5	10.6	21.1	61.7	23.4	26.3	30.2	37.7	44.7	54.7	57.1			
	術後在院日数	32.9	8.9	15.0	56.2	20.6	23.2	26.1	31.2	38.7	45.2	47.3			
	術前在院日数	5.6	3.6	1.2	16.6	1.7	2.4	2.8	4.6	7.1	10.7	12.2			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(11件以上)とした。

■ : 術前在院日数

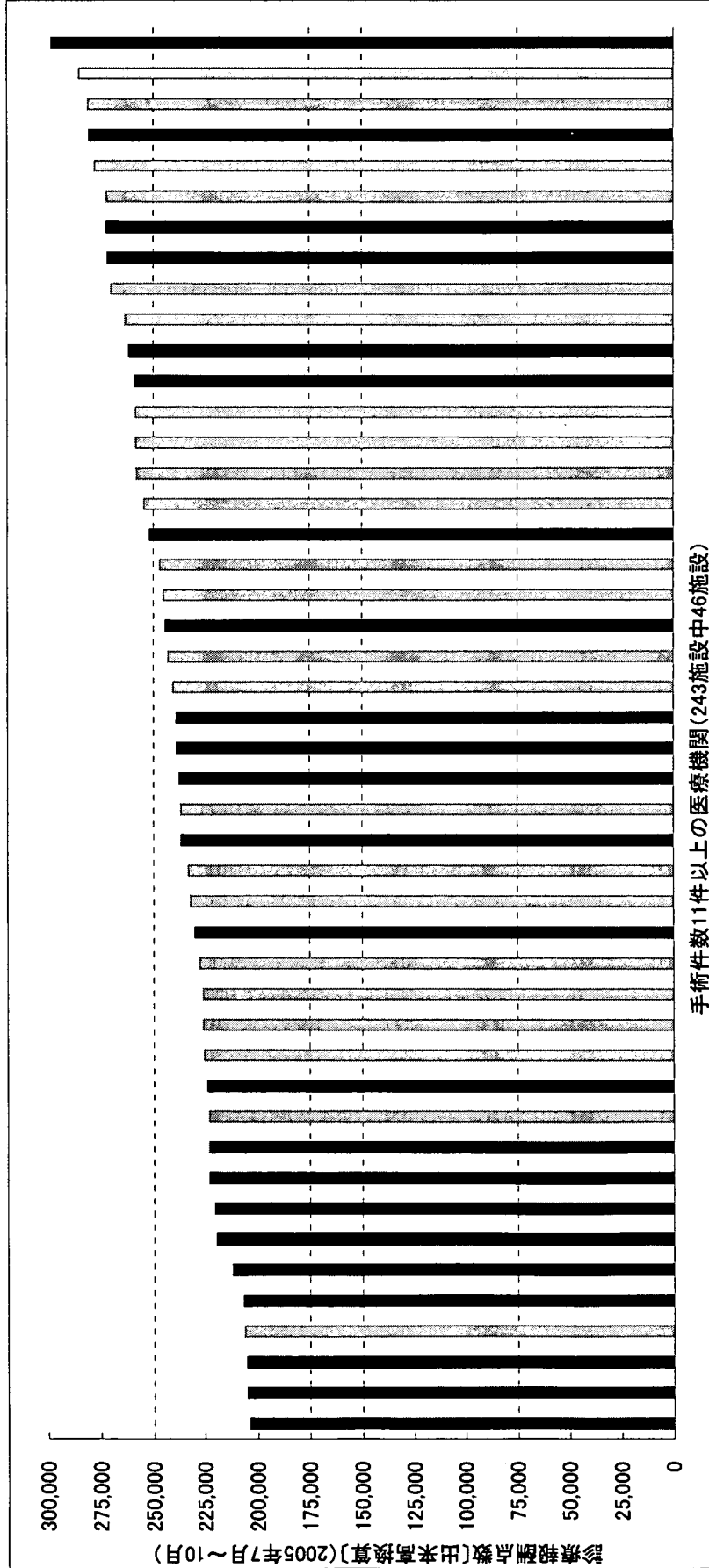
■ : 術後在院日数

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(11件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は48施設であった。股関節症における人工関節置換術の術前在院日数は1.2日から16.6日と極めて大きなバラツキがみられた。また術後在院日数が最大56.2日まで及ぶなど全体的に長期入院の傾向にあった。また、外れ値下位2.5%未満に25件が相当したが、そのうち6件と4件がそれぞれ1施設で占められていた。

股関節症人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 891)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
股関節症(変形性を含む)	診療報酬点数〔出来高換算〕	242,831	24,166	204,109	298,214	205,794	209,528	224,387	239,478	259,151	275,214	281,072
	特定機能病院(23施設)〔出来高換算総点数〕	247,798	21,219	206,836	285,237	223,509	225,652	230,302	245,674	261,245	276,904	280,912
	その他の参加病院(23施設)〔出来高換算の総点数〕	237,863	26,318	204,109	298,214	205,389	205,735	220,402	237,457	255,660	272,057	279,745



【図の説明】

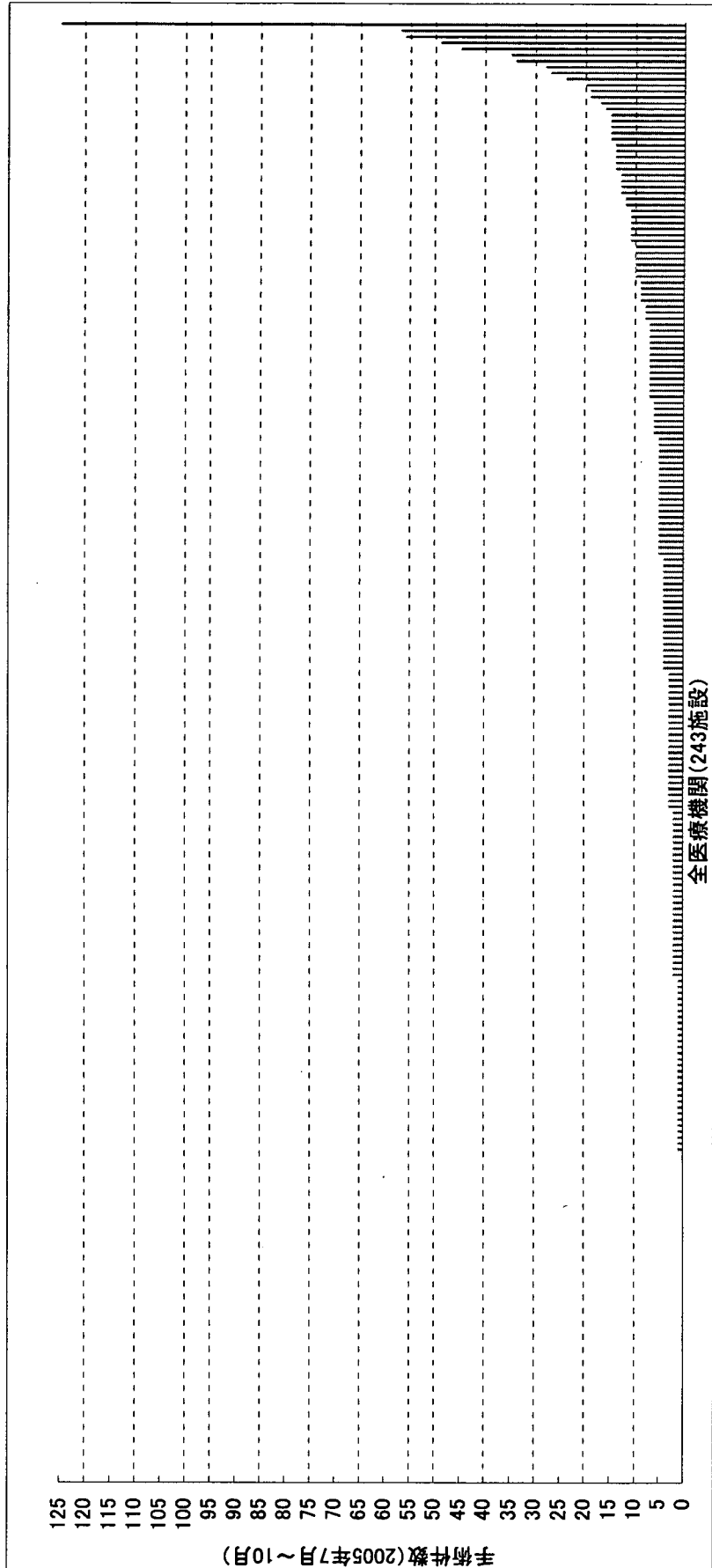
外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(11件以上)とした。単位は診療報酬点数である。  
 : 特定機能病院  
 : その他の参加病院

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(11件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は46施設であった。股関節症人工関節置換術施行症例の一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕は、中央値は約24万点で、バラツキの大きな分布となっていた。在院日数のバラツキが診療報酬点数〔出来高換算〕のバラツキを反映する結果となった。

### 膝関節症における人工関節置換術の施行件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術件数	1,435	5.9	11.3	0	125	0	0	1	3	7	14	19



【図の説明】

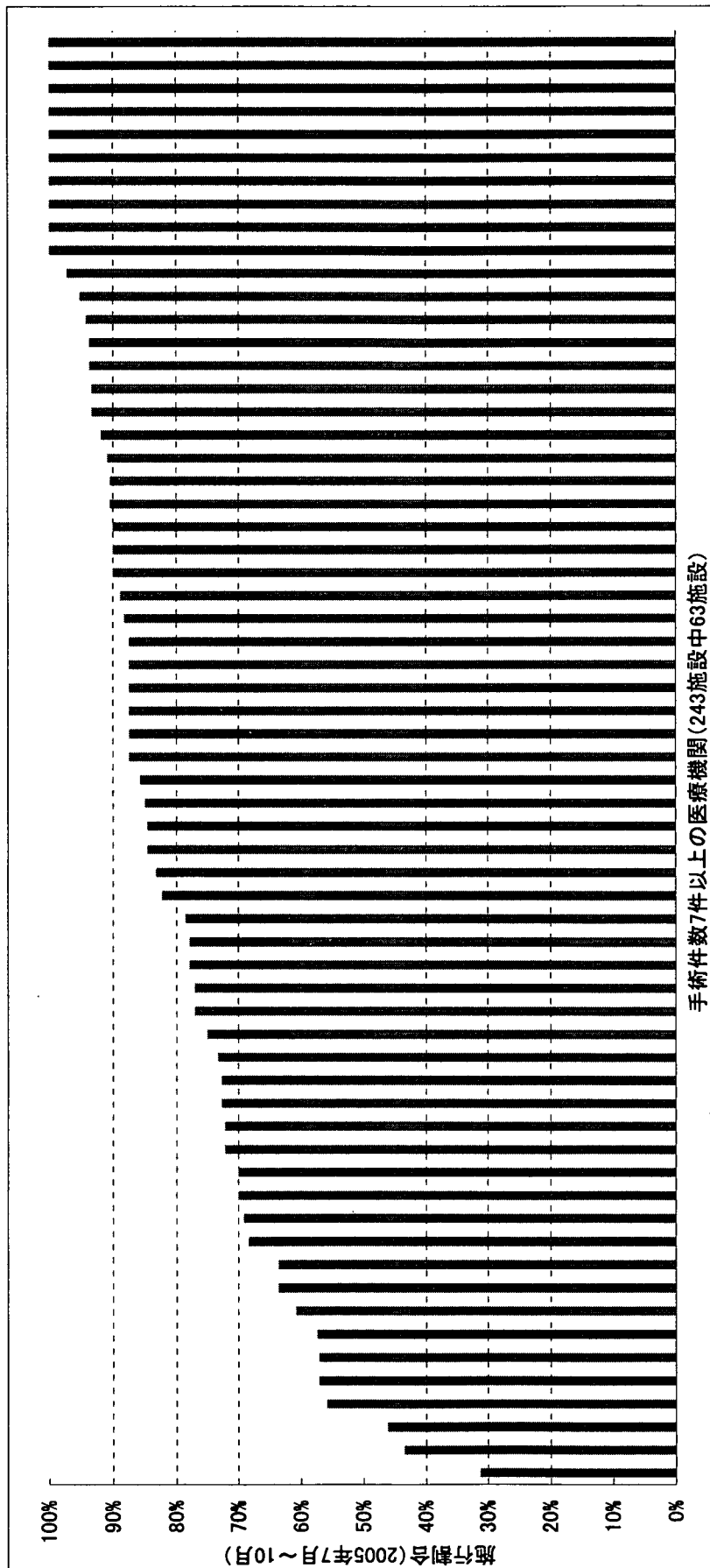
：人工関節置換術[DPC手術コード:02 かつ Kコード:K082]

【コメント】

膝関節症症例に対し人工関節置換術が4か月間で1件以上施行された医療機関は243施設中188施設(77%)であった。膝関節症における人工関節置換術の施行件数の中央値は3件であり、股関節症におけるそれと同等であった。しかし、1施設が125件もの件数を集中的に行われている現状が示された。

膝関節症における人工関節置換術の施行割合(N = 1,069)

解析対象DPC番号の範囲	0702303	パーセンタイル										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術割合	82%	16%	31%	100%	56%	58%	72%	88%	93%	100%	100%



【図の説明】

手術件数上位25%の施設を解析対象(7件以上)とした。

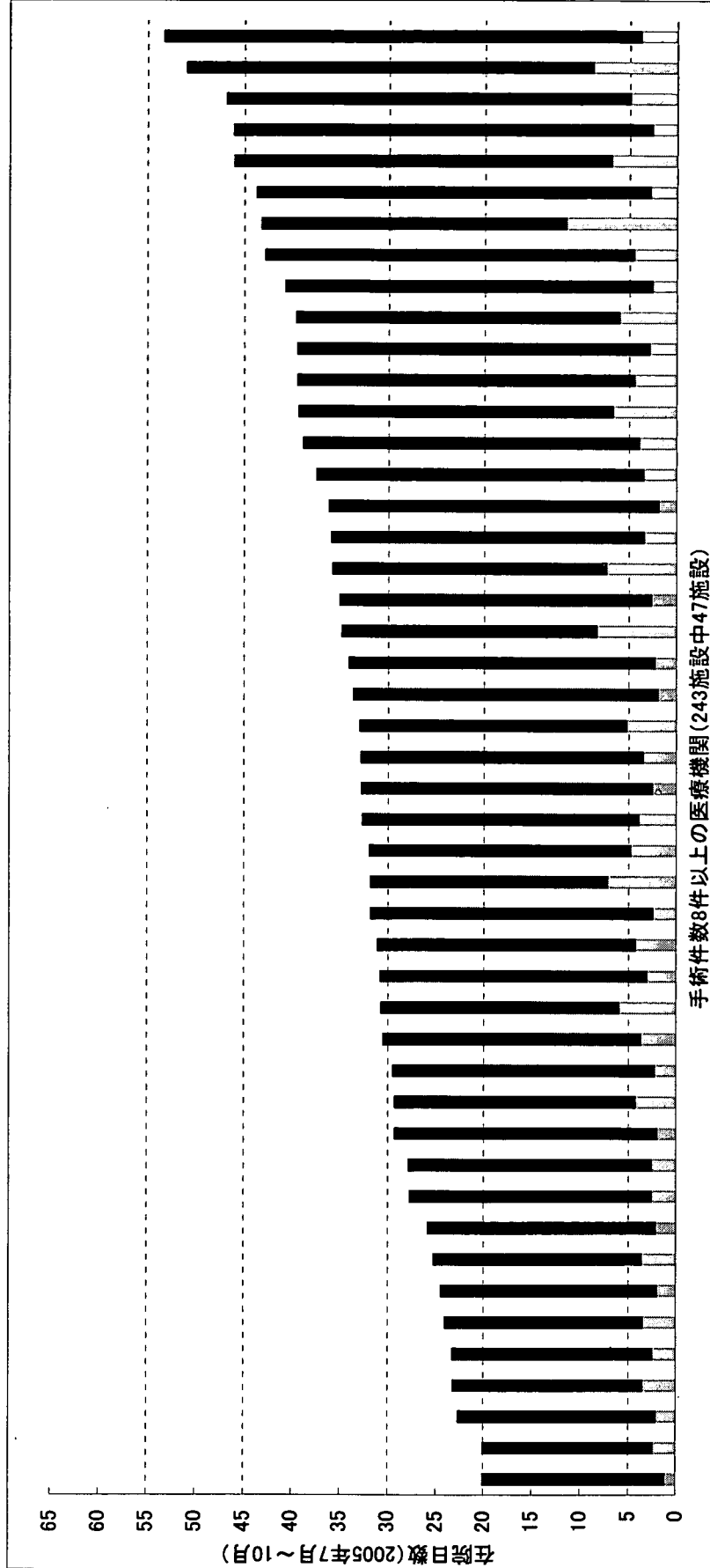
■ :人工関節置換術[DPC手術コード:02 かつ Kコード:K082]

【コメント】

手術件数上位25%(7件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は63施設であった。膝関節症全症例における人工関節置換術の施行割合は、施行割合が小さい施設もみられた。施設による症例の違いや治療選択の相違が示唆される。

膝関節症人工関節置換術施行症例における平均在院日数(N = 917)

分類名	手術内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
						5	10	25	50	75	90	95			
膝関節症(変形性を含む)における人工関節置換術施行症例	在院日数	34.0	7.9	20.1	53.4	22.9	23.8	29.3	32.9	39.5	44.7	46.7			
	術後在院日数	30.1	7.2	17.8	49.6	20.1	20.8	25.2	28.8	34.3	40.0	42.2			
	術前在院日数	3.9	2.1	1.1	11.5	1.9	2.0	2.4	3.4	4.6	6.9	7.9			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(8件以上)とした。

■:術前在院日数

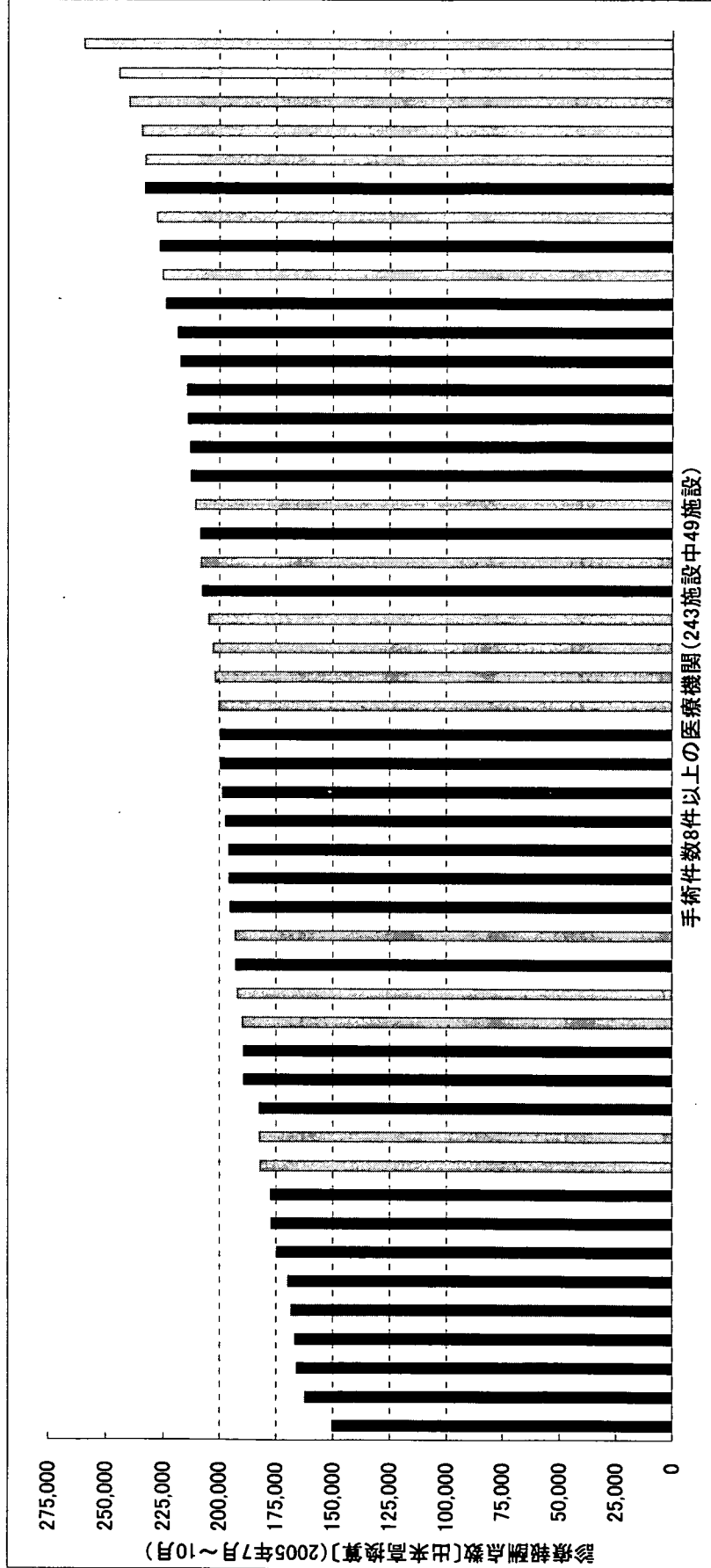
■:術後在院日数

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(8件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は47施設であった。膝関節症における人工関節置換術の術前在院日数は、1.1日から11.5日と股関節症よりもバラツキは小さいものの依然として大きな差が生じている。また、外れ値下位2.5%未満に35件が相当したが、そのうち13件が1施設で占められていた。

膝関節症人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 930)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膝関節症(変形性を含む)	診療報酬点数〔出来高換算〕	201,576	23,349	150,507	259,871	166,521	169,642	189,261	199,715	214,462	233,332	237,942
	特定機能病院(18施設)〔出来高換算総点数〕	213,159	22,923	182,089	259,871	182,370	187,732	194,941	206,593	232,070	241,623	247,173
	その他の参加病院(31施設)〔出来高換算の総点数〕	194,851	21,149	150,507	233,324	164,367	166,841	177,385	195,919	212,843	218,873	225,416



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、手術件数上位25%の施設を解析対象(8件以上)とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

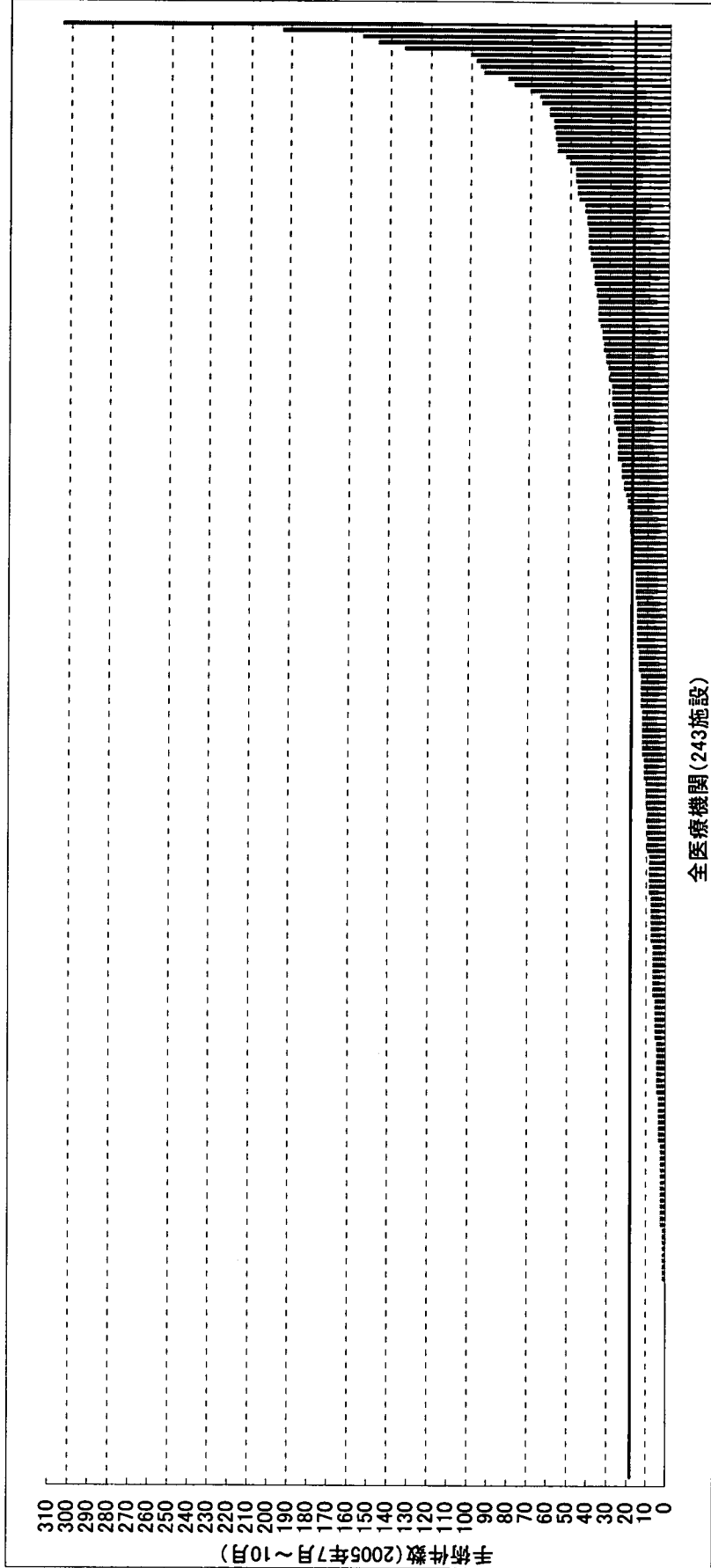
▨: その他の参加病院

【コメント】

全症例の97.5%以上2.5%未満を除外し、手術件数上位25%(8件以上)の施設を解析対象としたところ、解析対象施設は49施設であった。膝関節置換術施行症例の施設別1入院あたり診療報酬点数〔出来高換算〕は、中央値は約20万点で、バラツキが大きくなっていた。特定機能病院とそれ以外の参加病院との間の診療報酬に差がみられた。

【特掲診療料施設基準 該当施設数の検討】MDC07に分類された人工関節置換術の施行件数

解析対象DPC番号の範囲		MDC07全て															
分類名	解析内容	手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル										
							5	10	25	50	75	90	95				
筋骨格系疾患	その他の疾患における人工関節置換術	3,703	15.2	21.8	0	179	0	0	2	8	22	37	52				
	膝関節症における人工関節置換術	1,435	6.5	11.7	0	125	0	0	1	3	7	14	19				
	股関節症における人工関節置換術	42	0.2	0.6	0	5	0	0	0	0	0	1	1				



【図の説明】

: 股関節症における人工関節置換術 [Kコード: K082]  
 : その他の疾患(股関節骨董壊死、リウマチ疾患、全身性臓器障害を自己免疫性疾患)における人工関節置換術 [Kコード: K082]

【コメント】

現行の診療報酬制度(平成16年版)では、人工関節置換術を年間50症例以上行う医療機関には診療報酬が加算されることから、本データにおける加算対象施設数を調べた。本解析のデータ収集期間は4ヶ月であるため、年間50件に相当する17件で補助線を引いた。その結果、全体(243施設)の37%にあたる91施設がこの条件を満たしていた。

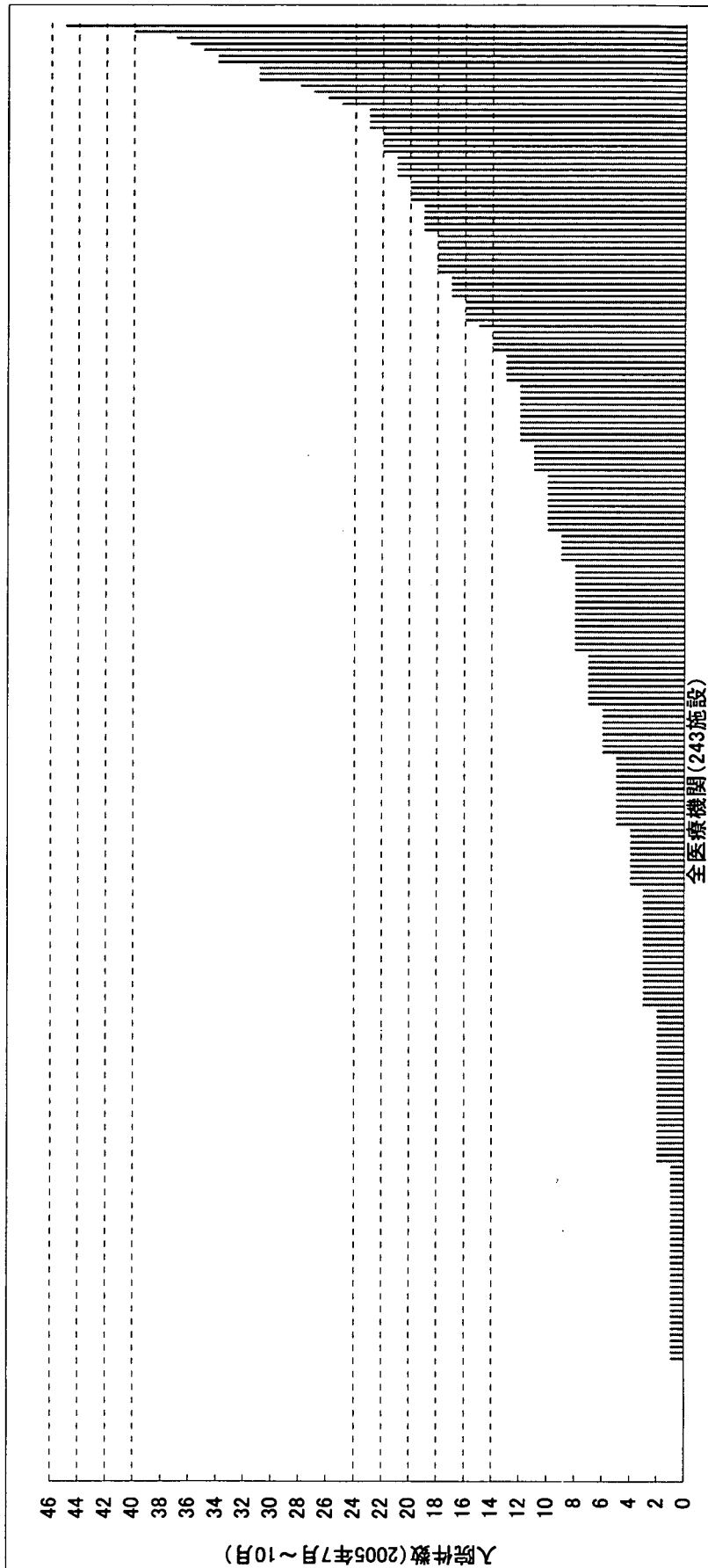
MDC08

皮膚・皮下組織の疾患



### 带状疱疹の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
带状疱疹	入院件数	2,089	8.6	8.9	0	45	0	1	2	6	12	21	26



【図の説明】

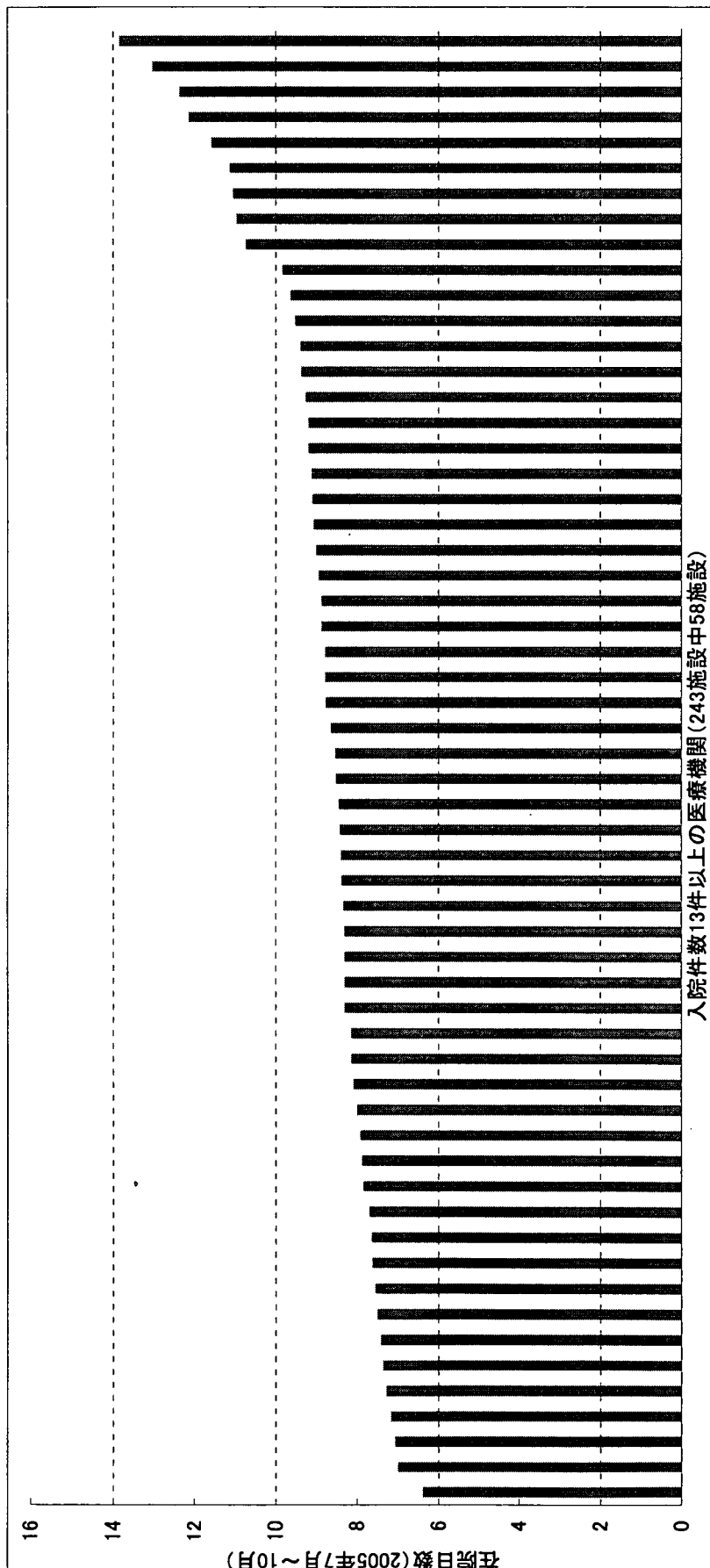
■ : 带状疱疹の症例数

【コメント】

- ・带状疱疹の症例数は、MDC08の全症例数の約23%を占めていた。
- ・带状疱疹の症例数1例以上の医療機関は223施設(全体の92%)において見られた。
- ・症例数の多い医療機関は、特定機能病院よりも他の参加病院に多く見られた。

帯状疱疹における平均在院日数(N = 1,224)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
帯状疱疹	在院日数	8.9	1.5	6.4	13.9	7.2	7.4	7.9	8.5	9.2	11.1	12.2



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。

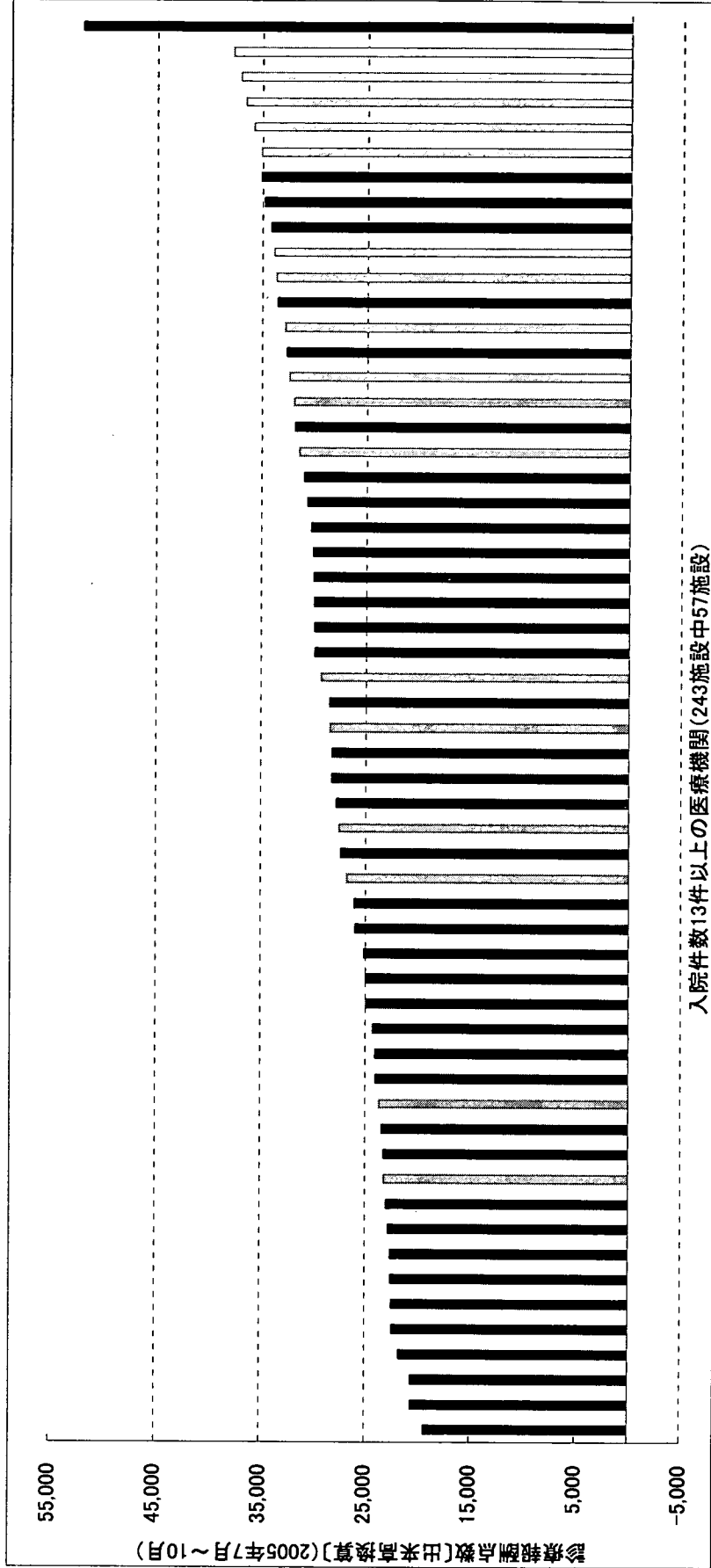
■ : 平均在院日数

【コメント】

- ・帯状疱疹の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。
- ・外れ値下位2.5%未満に39件が相当したが、そのうち3件が施設で占められていた。

帯状疱疹における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,207)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	0800203	パーセンタイル											
			解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
帯状疱疹			診療報酬点数〔出来高換算〕	28,789	5,749	19,422	52,067	21,564	22,574	24,069	28,505	32,469	35,136	36,704
			特定機能病院(17施設)〔出来高換算総点数〕	31,683	4,479	23,266	37,842	23,662	25,653	28,505	32,469	35,170	36,809	37,266
			その他の参加病院(40施設)〔出来高換算の総点数〕	27,559	5,833	19,422	52,067	20,662	22,408	23,234	26,801	30,147	33,661	34,854



【図の説明】

外れ値両側5%を除き、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

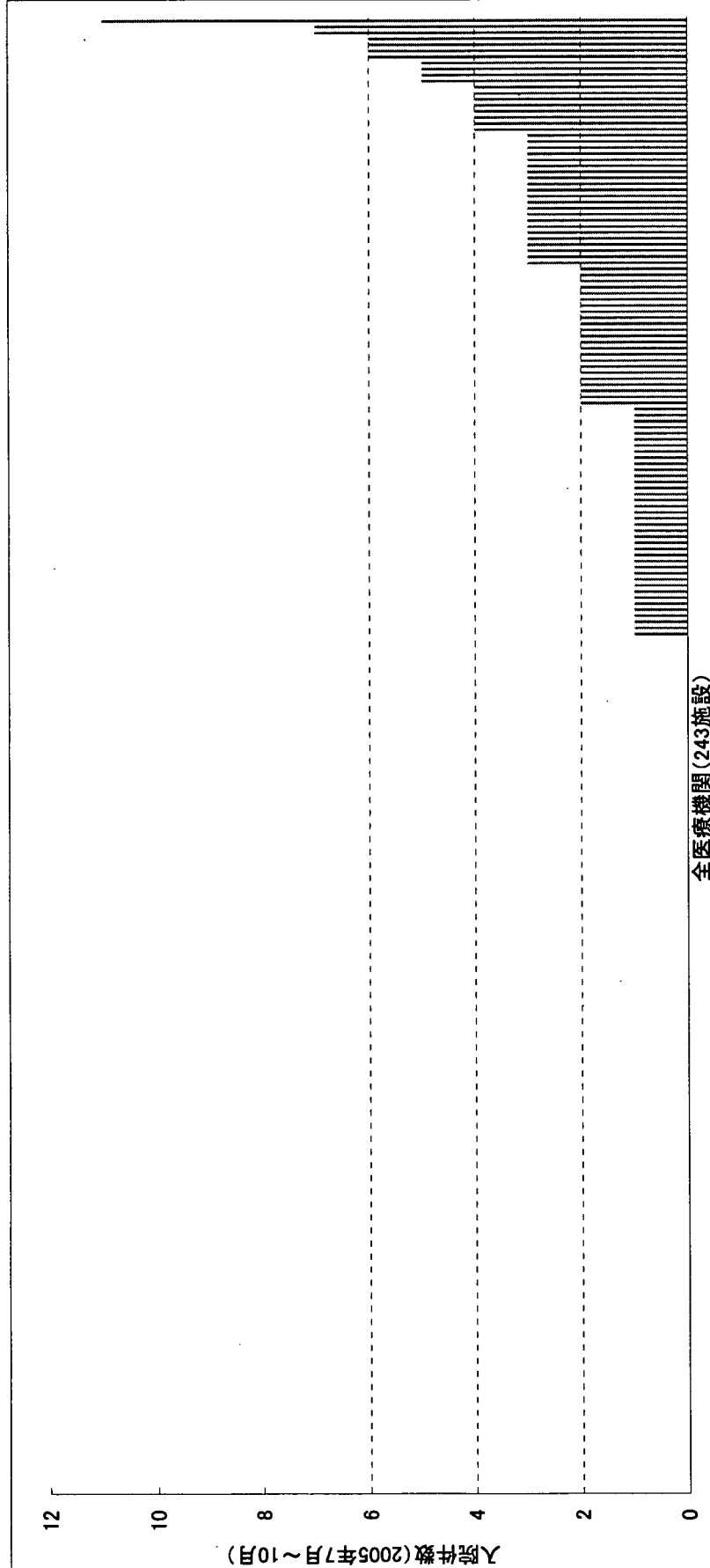
■: その他の参加病院

【コメント】

・帯状疱疹の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、その他の参加病院よりも特定機能病院の方が高い傾向があった。

### 水疱症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
0801103		5	10	25	50	75	90	95	入院件数	入院件数	最大値	最小値	標準偏差	平均値
分類名	解析内容	251	251	251	251	251	251	251	251	11	0	1.7	1.0	
水疱症	入院件数	251	251	251	251	251	251	251	251	11	0	1.7	1.0	



【図の説明】

■ : 水疱症の症例数

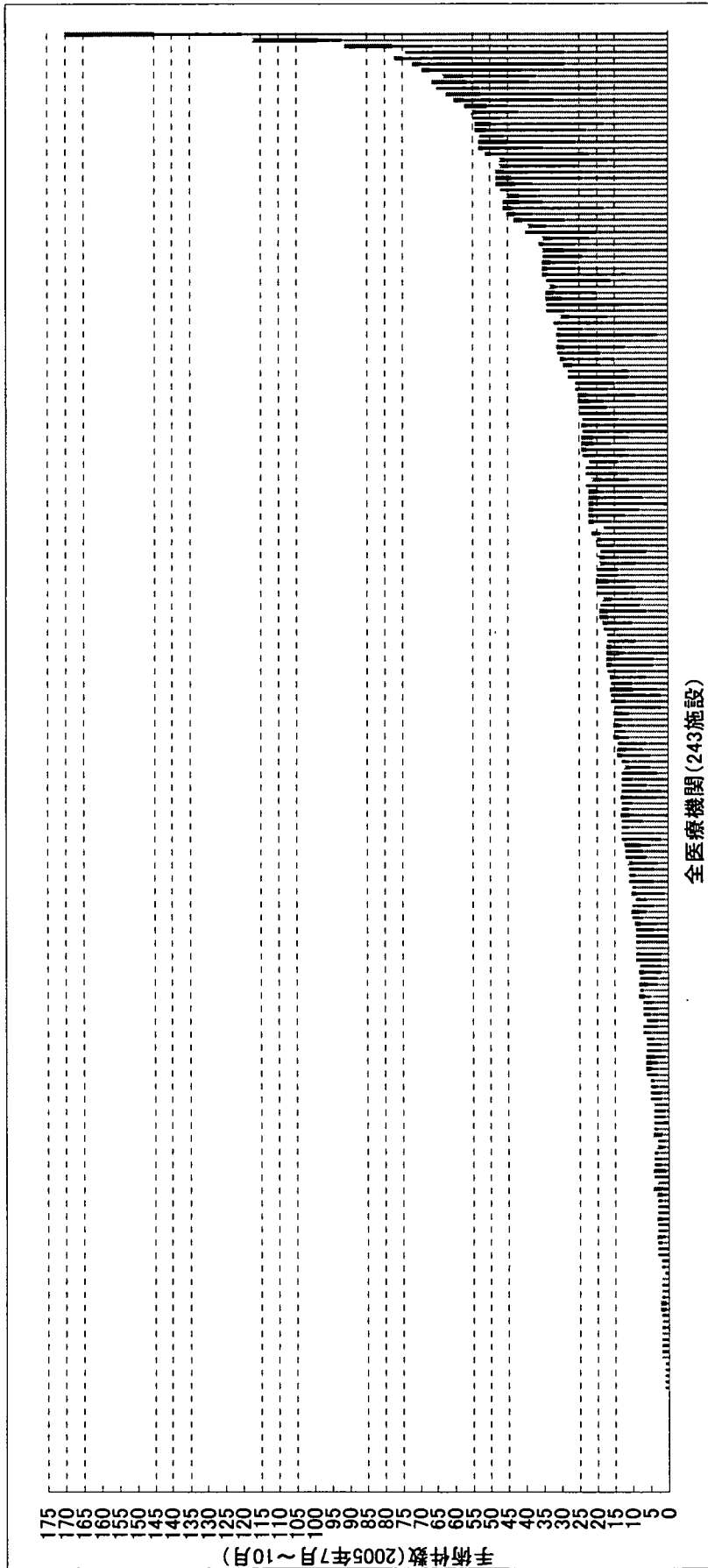
【コメント】

- ・水疱症の症例数1例以上の医療機関は102施設(全体の42%)において見られた。
- ・水疱症の症例数は医療機関で大きなバラツキが見られた。

# MDC09 乳房の疾患

# 乳癌手術症例の術式別手術施行件数

分類名	解析対象	パーセンタイル											
		手術件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍	拡大乳房切除術施行件数	1	1.0	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	乳房切除術(胸筋切除あり)施行件数	46	1.5	1.0	1	5	1	1	1	2	3	3	
	単純乳房切除術施行件数	258	2.6	3.4	1	25	1	1	2	2	5	8	
	乳房切除術(胸筋切除なし)施行件数	1,794	8.4	7.9	1	45	1	1	6	11	20	26	
	乳房部分切除術施行件数	2,693	11.9	15.1	0	120	0	2	7	16	29	38	



全医療機関(243施設)

【図の説明】 ICD-10: C50を使用した

■ : 乳房部分切除術(乳房温存術)[DPC手術コード:01かつKコード:K4762/K4763]

□ : 単純乳房切除術[DPC手術コード:01かつKコード:K4761]

▨ : 拡大乳房切除術施行件数[DPC手術コード:01かつKコード:K4766]

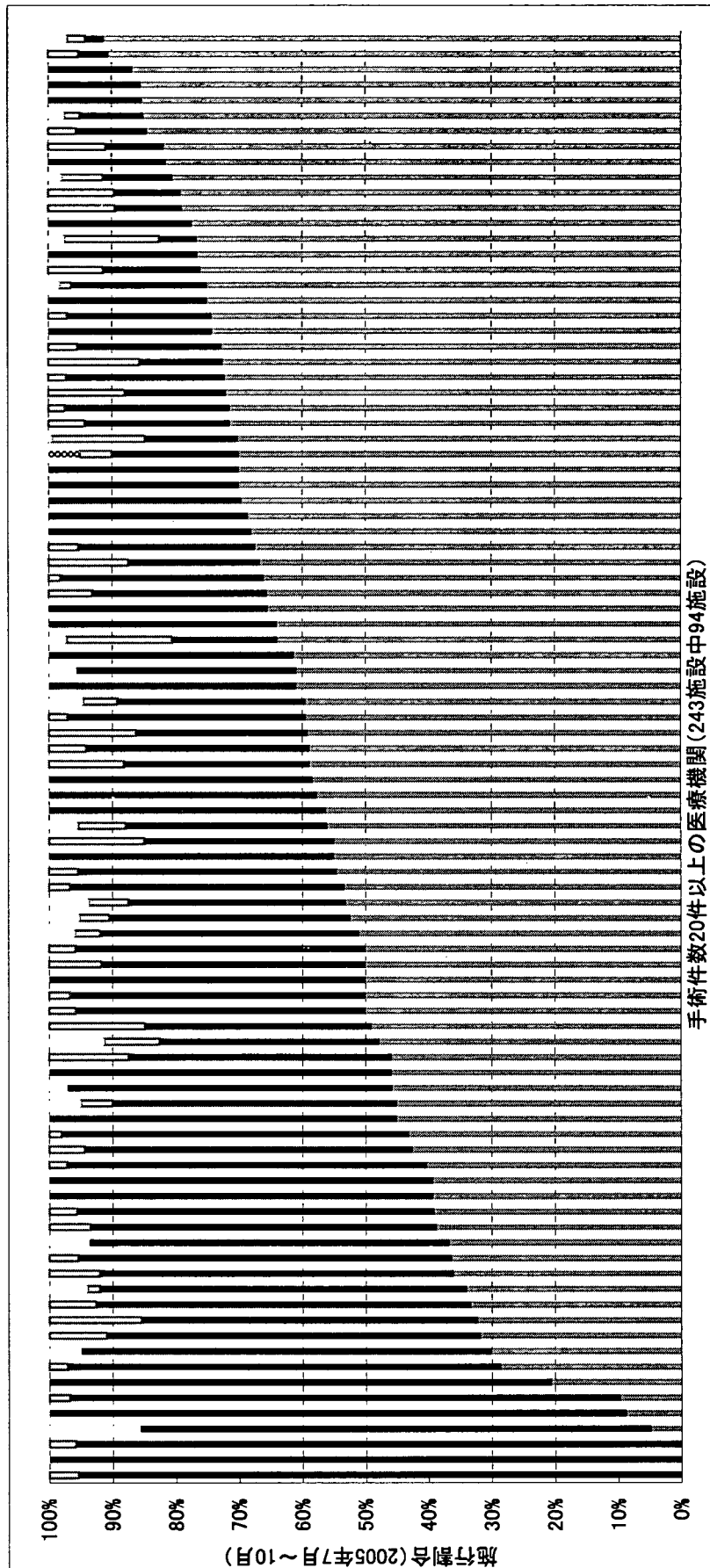
■ : 乳房切除術(胸筋切除なし)[DPC手術コード:01かつKコード:K4764]

□ : 乳房切除術(胸筋切除あり)[DPC手術コード:01かつKコード:K4765]

【コメント】243施設中、手術件数1件以上の226施設(全施設のうち93%、合計4,792件)を解析対象とした。乳房温存術(K4762およびK4763:乳房部分切除術)は手術件数において胸筋切除のない乳房切除術(K4764)よりも900例ほど多かった。1施設あたりの乳房温存術の施行件数は、4か月間で中央値7件であったが、施設間のバラツキは大きく、最小0件、最大120件であった。

### 乳癌手術症例の術式別手術施行割合 (N = 3,678)

分類名	解析対象	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍	拡大乳房切除術施行割合	0%	1%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	乳房切除術(胸筋切除あり)施行割合	1%	2%	0%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	6%
	単純乳房切除術施行割合	4%	5%	0%	17%	0%	0%	0%	3%	7%	12%	15%
	乳房切除術(胸筋切除なし)施行割合	38%	22%	3%	100%	10%	13%	23%	35%	53%	61%	83%
	乳房部分切除術(乳房温存術)施行割合	56%	21%	0%	91%	9%	32%	45%	59%	72%	80%	85%



**【図の説明】**

20件以上の施設を対象とし、ICD-10: C50を使用した

■: 乳房部分切除術(乳房温存術) [DPC手術コード: 01かつKコード: K4763]

■: 単純乳房切除術 [DPC手術コード: 01かつKコード: K4761]

■: 拡大乳房切除術施行件数 [DPC手術コード: 01かつKコード: K4766]

■: 乳房切除術(胸筋切除なし) [DPC手術コード: 01かつKコード: K4764]

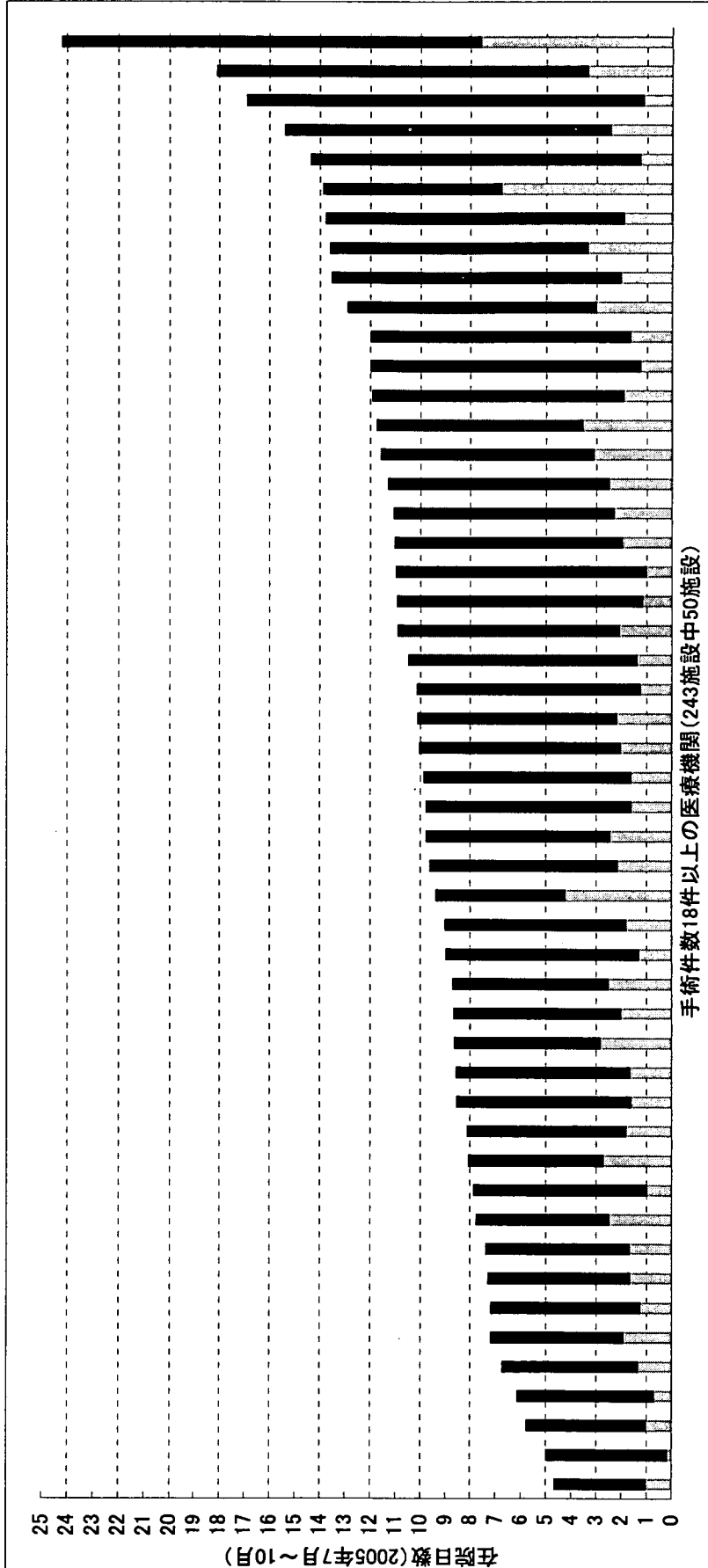
■: 乳房切除術(胸筋切除あり) [DPC手術コード: 01かつKコード: K4765]

**【コメント】**

手術件数20件以上の94施設を解析対象とした。乳房温存術は乳房切除術より施行割合が18%多く、乳癌手術症例全体の半数以上を占めていた。1施設あたりの乳房温存術施行割合の中央値は59%であったが、施設間のバラツキは大きく、最小0%、最大91%であった。

乳房温存術施行症例における平均在院日数 (N = 1,599)

分類名	解析対象DPC番号の範囲 0900103x01											
	解析対象		平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル					
乳房の悪性腫瘍における乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例	在院日数	10.4	3.5	4.7	24.2	5	10	25	50	75	90	95
	術後在院日数	8.3	2.9	3.7	16.7	5.0	5.3	6.0	8.0	9.9	12.0	14.0
	術前在院日数	2.1	1.3	0.2	7.6	1.0	1.0	1.3	1.9	2.5	3.3	3.9



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25% (18件以上) の施設を解析対象とした。

ICD-10: C50、K4762を用いた。

■ : 術前在院日数

■ : 術後在院日数

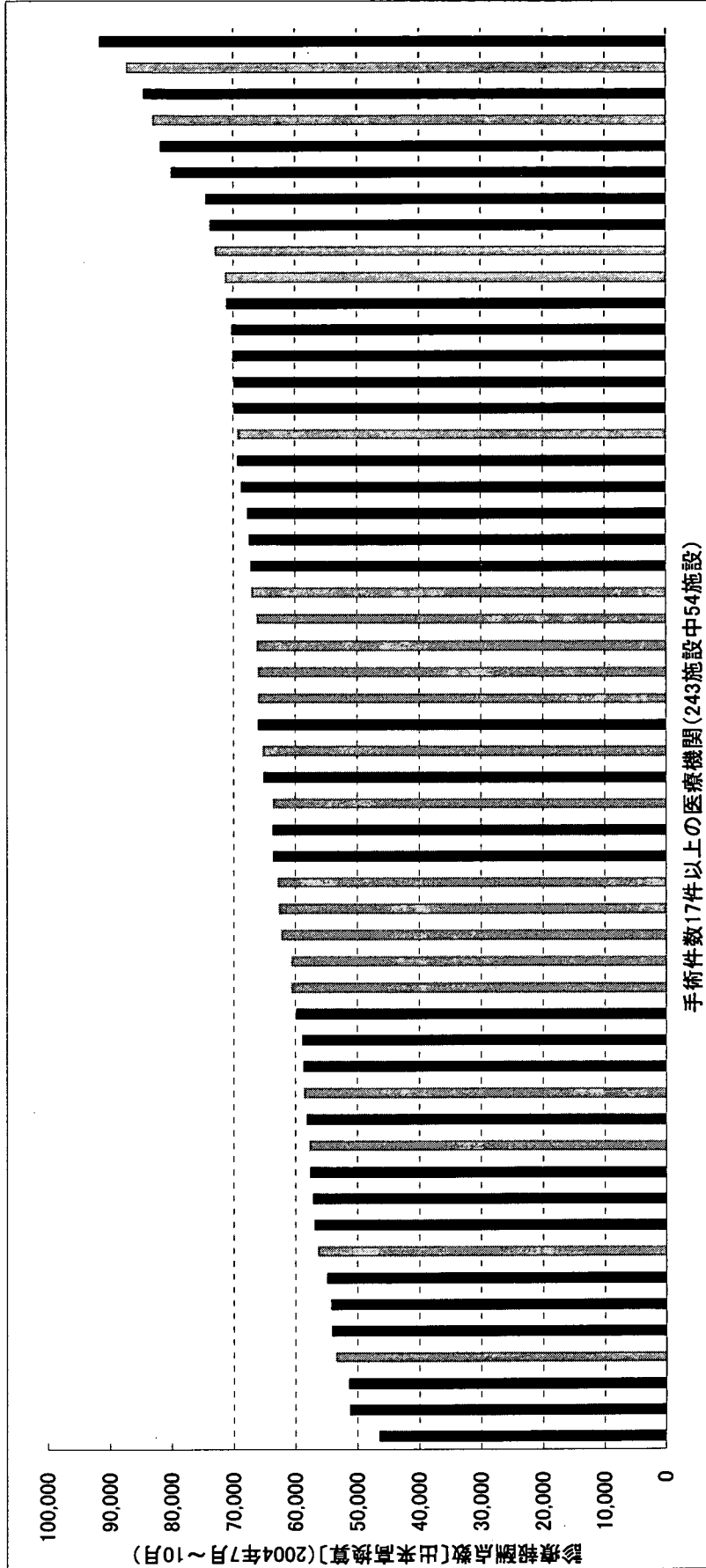
【コメント】

手術件数18件以上(件数上位25%に相当)の50施設を解析対象とした。在院日数は中央値10.0日で4.7日から24.2日までバラツキがあった。比較的控制可能な術前在院日数は、中央値1.9日、最小0.2、最大7.6日であり、術後在院日数は、中央値8.0日、最小3.7日、最大16.7日となり、術前術後ともにバラツキがみられた。術前在院日数が0の施設の入院件数は30件以上を有している。



乳房温存術施行症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値 (N = 1,637)

分類名	解析対象	パーセントイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍	解析対象 診療報酬点数〔出来高換算〕	65,490	9,344	46,510	91,609	52,752	54,482	58,731	65,662	69,837	78,330	83,572
	特定機能病院(21施設)〔出来高換算総点数〕	65,736	8,059	53,466	87,272	56,386	57,835	60,719	65,347	67,046	73,029	83,080
	その他の参加病院(33施設)〔出来高換算の総点数〕	65,333	10,195	46,510	91,609	51,382	54,169	57,645	65,977	70,106	78,890	82,869



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25% (17件以上) の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

ICD-10: C50、K4762を用いた。

■: 特定機能病院

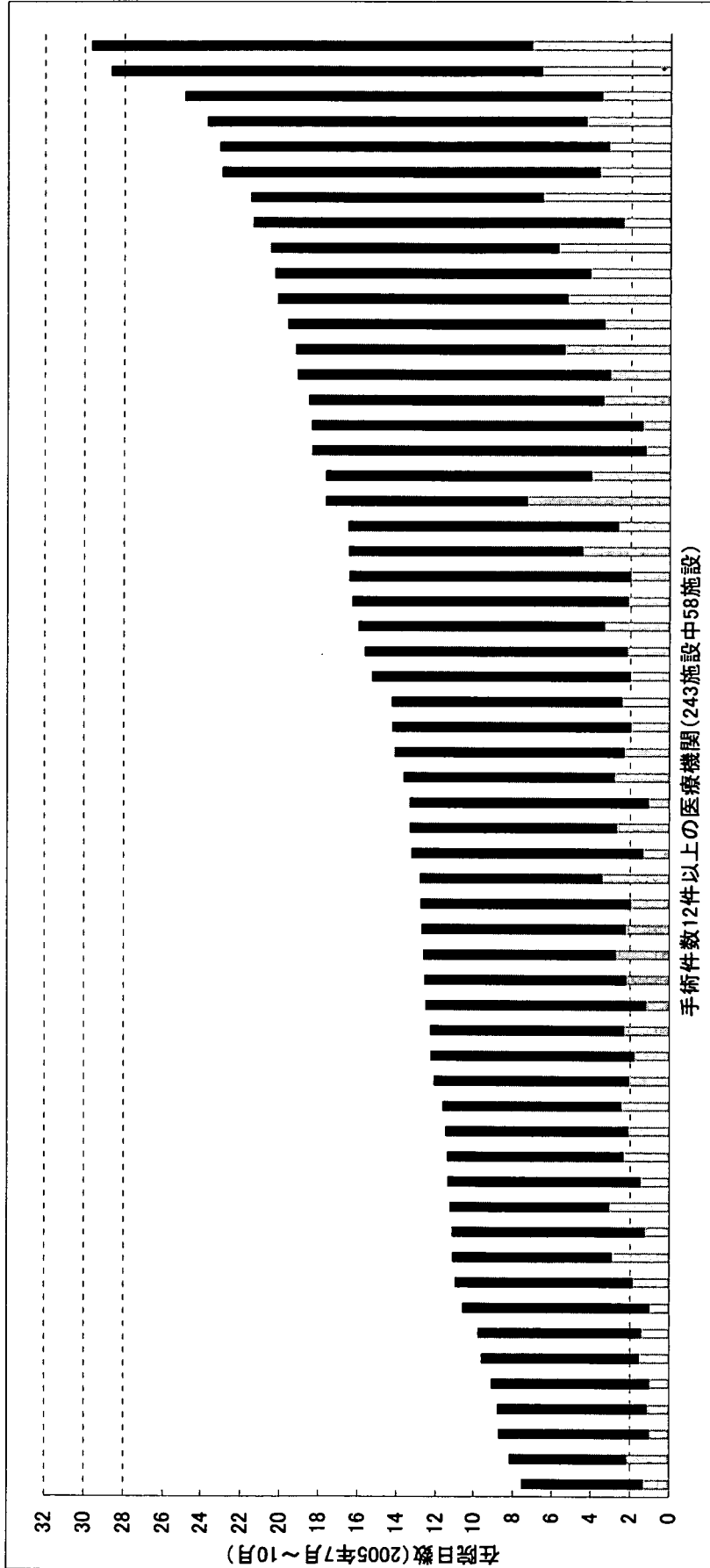
▨: その他の参加病院

【コメント】

外れ値両側5%を除外した手術件数17件以上 (件数上位25%に相当) の54施設を解析対象とした。全施設における診療報酬点数〔出来高換算〕の中央値は約7万点で、特定機能病院内の診療報酬点数〔出来高換算〕はそれ以外の病院とほぼ同額であった。

乳房切除術施行症例における平均在院日数 (N = 1,224)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	解析対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍における乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例	在院日数	15.4	5.0	7.5	29.7	8.8	9.7	11.6	13.9	18.5	22.0	23.9
	術後在院日数	12.6	4.0	6.0	22.6	7.7	8.2	9.7	11.8	14.9	19.1	20.2
	術前在院日数	2.8	1.6	1.0	7.3	1.0	1.2	1.8	2.3	3.4	5.3	6.5



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。

ICD-10: C50, K4761, K4764, K4765を用いた。

▨ : 術前在院日数

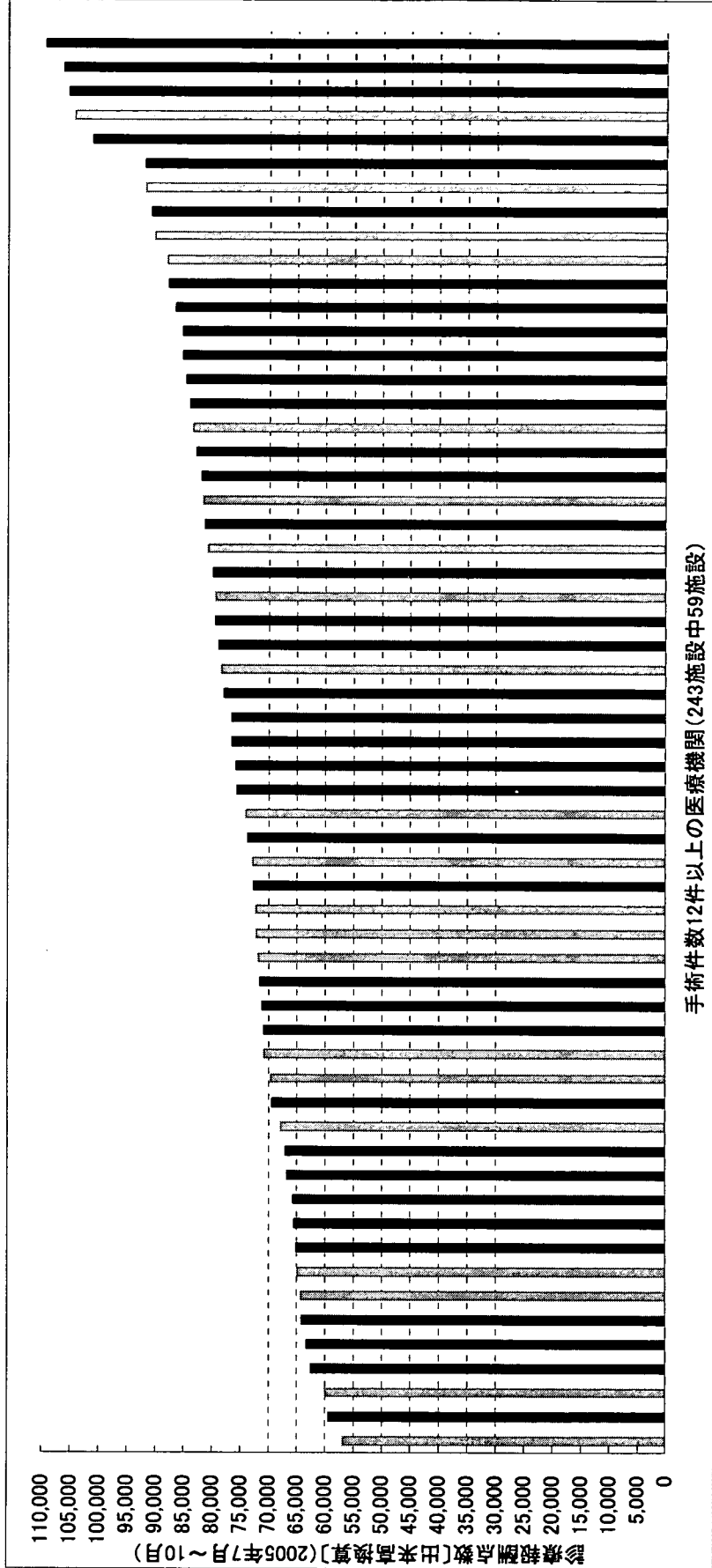
■ : 術後在院日数

【コメント】

手術件数12件以上(件数上位25%に相当)の58施設を解析対象とした。在院日数は中央値13.9日で7.5日から29.7日まで大きなバラツキがみられた。比較的控制可能な術前在院日数は、中央値2.3日、最小1.0、最大7.3日であり、術後在院日数は、中央値11.8日、最小6.0日、最大22.6日となっており、乳房温存術よりも程度は小さいものの、術前術後ともにバラツキがみられた。

乳房切除術施行症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,220)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	解析対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
乳房の悪性腫瘍	診療報酬点数〔出来高換算〕	77,955	12,113	57,022	109,484	62,367	64,407	69,685	76,681	84,471	92,031	104,576
	特定機能病院(21施設)〔出来高換算総点数〕	76,172	11,413	57,022	104,482	60,177	64,440	69,803	73,071	81,828	90,373	92,023
	その他の参加病院(30施設)〔出来高換算の総点数〕	78,940	12,522	59,560	109,484	63,288	64,975	69,939	77,423	85,243	94,824	105,570



手術件数12件以上の医療機関(243施設中59施設)

【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(12件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

ICD-10: C50, K4761, K4764, K4765を用いた。

■: 特定機能病院

■: その他の参加病院

【コメント】

外れ値両側5%を除外した手術件数12件以上(件数上位25%に相当)の59施設を解析対象とした。全施設における診療報酬点数〔出来高換算〕の中央値は約7.6万点で、その他の病棟の診療報酬点数〔出来高換算〕は特定機能病院よりもやや高い傾向にあった。

# MDC10

## 内分泌・栄養・代謝に関する疾患